

# オペレッタ「帰らなかった井月さん」

詞・曲 一ノ瀬武志

(セリフ) むかしむかし、いな谷のせいげつさんは、自分の家をもたず、人の家をとまり歩いてくらししていました。

♩=80

(井月) あす知らぬ身の楽しみや 花に酒 (全員) あす知らぬ身の楽しみや 花に酒

5 ♩=92 *f*

せいげつさんは いえがない -

9 *mf*

あっちのいえに あがりこみ こっちのいえに あがりこみ

オペレッタ「帰らなかった井月さん」

12

むらびとに はいくをおしえるせいげつさん みごとなふでさばき

15

すらすらかきあげて みまもるひとをおどろかす みまもるひとをおどろかす

18

(全員) でも、せいげつさんは、いつもお酒を飲んでいる、ちょっとこまった人でした。

21

あっちのいえでよいつぶれ こっちのいえでよいつぶれ

オペレッタ「帰らなかった井月さん」

24

だらしなない 暮らしをつづけるせいげつさん そろそろどうだろう

27

えちごのふるさとへ かえってみてはどうだろう かえってみてはどうだろう

30

*f*  
せいげつさんはいえがない

(セリフ) しかし、せいげつさんは、旅ぐらしをやめません。村人たちは、そうべつ会をひらいて、せいげつさんをふるさとへ帰すことにしました。

34  $\text{♩} = 80$

(井月) 立ちそこね 帰りおくれてゆくつばめ (全員) 立ちそこね 帰りおくれてゆくつばめ



オペレッタ「帰らなかった井月さん」

55

えちごにかえつてがんばれよ

55

mf

59

rit.

(各自バラバラに) 「さようなら〜」 「元気でな〜」

59

mp

p

gva

♩=84

63

mp

けれどもなぜだか せいげつさん いつまでたつても かえない

63

mp

67

rit.

あいかわらずの くらしをつづけ おさけにようばかり

67

オペレッタ「帰らなかった井月さん」

(セリフ) せっかく送別会をひらいてあげたのに、どういふつもりなのでしょう。そこで村人たちは、せいげつさんとちゅうの善光寺まで送って行くことにしました。

71  $\text{♩} = 84$

(井月) 思いよらぬ うめの花見て 善光寺 (全員) 思いよらぬ うめの花見て 善光寺

71 *p*

75 *mf*

せいげつさんを つれだして

75 *mf*

80

ぜんこうじまいり エンヤラヤットコ たどりつき ぜんこうじまい

80

85

り ここまでくれば ふるさとの えちごのまちへ あとはんぶん

85

オペレッタ「帰らなかった井月さん」

90



たっ しゃで かえれよと おきざりにして せいげつさんを

95  $\text{♩} = 120$



すてま した (井月) 「おーい！」

99



「おーい！」 ひとりぼちの せいげつさん やっ ぱりえちごに

103



かえらずに どこにもゆきばが なかったか いなだにへ

オペレッタ「帰らなかった井月さん」

107 *rit.* *f* ♩=92

もどつ てきたとい う な ぜ え ち ご に

110

か え ら な い い え や か ぞ く は どう し た か

113

な に も か た ら ぬ せい げつ さん

(セリフ) せいげつさんのふるさととは、ぼしんせんそうで、やかれてしまったのでしょうか。けっきょく、みすず村の知り合いの家が、せいげつさんを引きうけることになりました。

117 ♩=84

(井月) おちぐりの ぎをさだめるやくぼだまり (全員) おちぐりの ぎをさだめるやくぼだまり



オペレッタ「帰らなかった井月さん」

122 *mp*

みすずのむらの そのいえに ようしにはいったせいげつさん

126

し おは ら せいすけと なまえもつけました

130 *mf*

けれどもそこに すみつかず あっちへこっちへ たびまくら

134

どこかのむらを さまよって おさけにおぼれる くらしぶ

オペレッタ「帰らなかった井月さん」

138 *f*

り せい げつ さん は た び の ひ と ある き つ づ け る

142

た び の ひ と せい げつ さん は た び の ひ と ど こ に も か え ら ず

146

い き る ひ と じ ぶ ん の み ち を

149 *rit.*

い き る ひ と -